

6 . JR 八尾駅周辺のバリアフリー化に向けて

(1) 心と行動のバリアフリー

八尾市では「一人ひとりが創りあげるバリアフリーのまち(みんなでつくる安全・安心・快適なまちづくり)」を基本理念に障害の有無や、年齢、性別、国籍などにかかわらず、だれもが安全・安心・快適に暮らせる環境づくりのために、交通バリアフリーを推進しています。

交通バリアフリーのまちづくりを実現するには、施設(駅、道路等)のバリアフリー化を図るだけでなく、それを利用する側の心と行動のバリアフリーが必要です。

全体構想では、基本理念に基づき、「心と行動のバリアフリー」について以下の3つの視点が提案されていますので、それを踏まえた取り組みを進めていきます。

「バリア」とは何かを知ること
「バリアの解消方法」について考えること
自分には何ができるのかを考えること

JR八尾駅周辺地区では、タウンウォッチングやアンケート調査において、特に道路上の障害物や自転車の利用マナー等に関するバリアが多く指摘されています。

このため、市民、事業者、行政が参画し、迷惑駐車・放置自転車に対するキャンペーンや、道路上の違法看板や商品のはみ出しなどを防止するために、関係機関や地元住民が一体となった取り組みを実施し、市民、事業者、行政等の協力、連携によるバリアフリーのまちづくりをより一層発展させていきます。

(2) 今後の展開に向けて

JR八尾駅周辺地区では、駅周辺のまちづくりのあり方について、様々な検討や意見交換等が行われています。

本地区構想の中では駅舎や駅前広場については、具体的な事業内容を示していませんが、今後駅周辺のまちづくりの計画を検討する中で、JR八尾駅周辺地区の総合的なバリアフリーの向上を図っていきます。

また、特定事業等の中で短期的に整備が困難なものについても、今後の改修時期等に合わせて、よりバリアフリー化の高い内容への整備を進めてまいります。